

平成27年度施策評価シート

<1.施策の概要>

施策 No.	1211	施策名	ごみを減らし資源を大切にすまち	主 担 当 課	環境課
大項目	安全で快適なまちづくり				
基本 方針	市民の排出した廃棄物を収集処理することで、住みよい快適な生活環境を確保するとともに、環境を大切にする消費者を育て、ごみの排出抑制と資源化を進めることでごみを減らし、環境への負荷の少ない循環型社会を構築します。 不法投棄の監視体制を強化することで不法投棄をなくし、快適な環境を確保します。 ごみ処理の効率化を目指し、広域化を進めます。			関 係 課	西部衛生
					西部環境

<2.施策を構成する事務事業の概要>

1	ごみ収集業務												
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
市民		市民の排出したごみを収集し、健康で快適な生活環境の向上を図る。				市民の排出した廃棄物(可燃物・粗大・不燃物)の収集。業務に使用する車両、船舶、施設の管理及び収集作業の安全管理、一般廃棄物処理手数料の徴収、一般廃棄物収集運搬業許可及び指導							
		平成23年度		平成24年度		平成25年度			平成26年度				
取組内容		●ごみ収集施設設置補助 ●有料粗大ごみ収集業務 ●ふれあい収集業務 ●廃棄物収集業務 ●廃棄物収集委託業務 ●分別収集業務 ●分別収集委託業務		⇒		⇒			⇒				
直接 事業費	決算額	150,086	千円	決算額	138,447	千円	決算額	155,190	千円	決算額	170,823	千円	
	うち 一般財源	150,086	千円	うち 一般財源	138,447	千円	うち 一般財源	155,190	千円	うち 一般財源	170,823	千円	

2	ごみ減量化・リサイクル推進事業											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
市民及び事業者		ごみの減量化、資源化に協力していただき、ごみの排出量の削減を図る。				ごみ処理容器設置事業等補助金交付、ごみ減量化等対策策定、一般廃棄物処理計画策定、資源ゴミ回収補助、廃棄物減量等推進審議会開催・運営、環境衛生団体の指導育成、一般廃棄物の処理(委託契約を含む)、一般廃棄物の処理手数料の徴収						
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	●マイバック持参運動の普及事業 ●生ごみ処理容器購入補助 ●指定ごみ袋配布事業 ○ごみ袋配布枚数等の見直し ●資源回収推進団体・資源回収推進業者補助事業 ●廃棄物減量推進員制度 ●ごみ減量化啓発・広報事業 ●リサイクル啓発事業 ●ごみ処理広域化実施計画策定業務 ●用地選定業務 ●不法投棄対策事業			⇒			●マイバック持参運動の普及事業 ●生ごみ処理容器購入補助 ●指定ごみ袋配布事業 ○ごみ袋配布枚数等の見直し ●資源回収推進団体・資源回収推進業者補助事業 ●廃棄物減量推進員制度 ●ごみ減量化啓発・広報事業 ●リサイクル啓発事業 ●ごみ処理広域化実施計画策定業務 ●用地選定業務 ●不法投棄対策事業 ●小型家電リサイクル制度			●マイバック持参運動の普及事業 ●生ごみ処理容器購入補助 ●指定ごみ袋配布事業 ○ごみ袋配布枚数等の見直し ●資源回収推進団体・資源回収推進業者補助事業 ●廃棄物減量推進員制度 ●ごみ減量化啓発・広報事業 ●リサイクル啓発事業 ●ごみ処理広域化実施計画策定業務 ●用地選定業務 ●不法投棄対策事業 ●小型家電リサイクル制度 ●笠岡市廃棄物減量等推進審議会の開催		
	直接事業費	決算額	28,943	千円	決算額	37,158	千円	決算額	32,031	千円	決算額	27,698
	うち一般財源	28,193	千円	うち一般財源	36,408	千円	うち一般財源	31,281	千円	うち一般財源	26,948	千円

3	し尿収集業務											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
市民及び事業者		排出したし尿を収集し、健康で快適な生活環境の向上を図る。				し尿の収集。島嶼部へ収集車を運搬するし尿船の管理。						
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	○し尿収集業務 ○し尿収集委託業務 ○汲み取り料金滞納の解消 ○島嶼部対応用し尿船の管理 ○し尿収集車の維持管理			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	102,785	千円	決算額	105,272	千円	決算額	105,287	千円	決算額	93,686	千円
	うち一般財源	12,230	千円	うち一般財源	17,914	千円	うち一般財源	18,287	千円	うち一般財源	22,778	千円

<3.施策の直接事業費(2の合計)>

平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度	
直接 事業費	281,814	千円		280,877	千円			292,508	千円			292,207	千円
うち 一般財源	190,509	千円		192,769	千円			204,758	千円			220,549	千円

<4.指標>

指 標 名				目標・実績の推移					
				H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H29 目標
1	1人1日当たり生活ごみ排出量	単位	目標				456	449	428
		g	実績	458	451	488	464	458	
			達成率				98.3%	98.0%	
2	事業ごみ年間処理量	単位	目標				4,567	4,468	4,170
		t	実績	5,258	4,854	4,636	4,599	4,946	
			達成率				99.3%	90.3%	
3	ごみの減量化・資源化に取り組んでいる市民の割合(市民意識調査)	単位	目標				—	89.9	90.0
		%	実績	88.7	—	89.8	—	87.2	
			達成率					97.0%	
4	可燃ごみの減量化率 (H17 年度比)	単位	目標				87.0	86.0	80.0
		%	実績	94.8	91.9	93.2	89.8	91.9	
			達成率				96.9%	93.6%	
5	不燃ごみの減量化率 (H17 年度比)	単位	目標				79.5	79.0	77.5
		%	実績	84.8	82.7	82.4	81.6	72.1	
			達成率				97.4%	109.6%	
6	ごみの資源化率	単位	目標				28.0	29.0	32.0
		%	実績	20.1	19.8	18.9	39.2	39.5	
			達成率				140.0%	136.2%	

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

委員コメント	対応・回答
・リサイクル可能な資源ごみについては、町内への資金還元等が可能かどうか検討すること考えられます。	→ 昨年開催した廃棄物減量等推進審議会において、指定ごみ袋制度の見直し(単純従量制の導入)に伴う増収分の市民還元策として、資源回収推進団体等への報奨制度を拡充すべきとの答申がなされている。制度の見直し状況に併せ、還元策についても検討していきたい。
・ごみの排出量、年間処理量、減量化率等は指標からはほぼ計画通りに進んでいるように見えるが、今後ともごみを減らすなどの施策を推し進めていただきたい。	→ 昨年開催した廃棄物減量等推進審議会でも検証を行い、さらなる減量化・資源化の推進のため答申をいただいた。社会情勢や市民のご理解を賜りながら施策の推進に努めたい。
・指定ごみ袋配布事業については検討をしていただきたい。同居でいながら別世帯のケース(2人で住む)等不公平に思う。	→ 昨年開催した廃棄物減量等推進審議会の中でも同様に現行制度の中の不公平というご意見を議論し、1枚目から購入する新制度の早期導入を答申いただいた。今後地区等にも説明会等を開き、ご意見・ご要望等を賜りながら、納得いただける制度導入を目指したい。
・複雑化しているゴミの分別については継続した広報活動が必要だと思う。	→ ご指摘いただいたように、さらなる家庭ゴミの減量化・資源化には分別の正しい理解が必要不可欠であり、今後とも出張出前講座を積極的に実施したい。

<6.平成26年度の振り返り>(担当部署自己評価)

施策の進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B
--	---

<7.施策の課題と改善案>

課題と改善案	廃棄物減量等推進審議会を前年度から継続して開催し、さらなる一般廃棄物の発生抑制について、指定ごみ袋単純従量制の導入を柱とする答申が平成26年8月にあった。一般廃棄物処理基本計画で定める平成29年度におけるごみ排出量削減目標の達成に向け、同審議会結果報告会(出前講座)を各地区で行うなどの取り組みを引き続き実施する予定である。 資源化物収集運搬業務については、委託業者の指名停止に伴う当面の措置として、平成26年度より直営で実施している。本業務は公共的使命が重大であることに鑑み、市民にとって安全・安心な継続的な体制を整備するため、一般公募型プロポーザル方式による委託業者の選定を行い、平成28年度から民間委託を行う予定としている。
--------	--

<8.委員による評価結果>

総合評価	A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果 (前期4年間の総合評価)	B
コメント	・今後、事業ごみ、可燃ごみ等が増加し、処理コストが増加する可能性が高い中、減らす努力をしていただきたい。 ・最終処分場の問題がある。解決への施策と、ごみ減量への施策を進めていただきたい。			